今、何の病気が流行しているか！

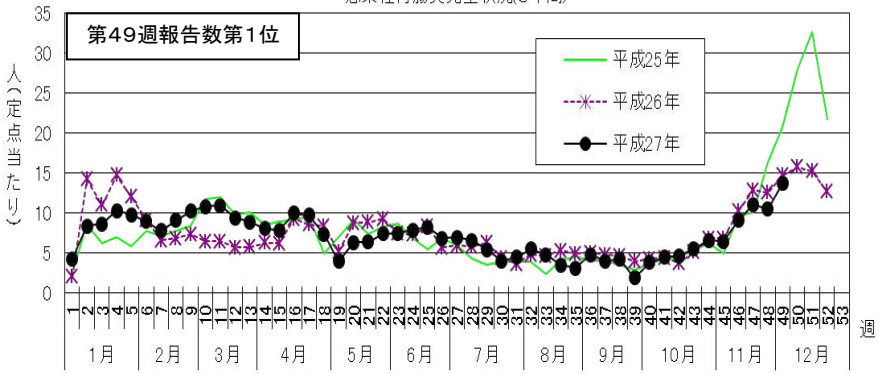
【感染症発生動向調査事業から】

KAWASAKI CITY

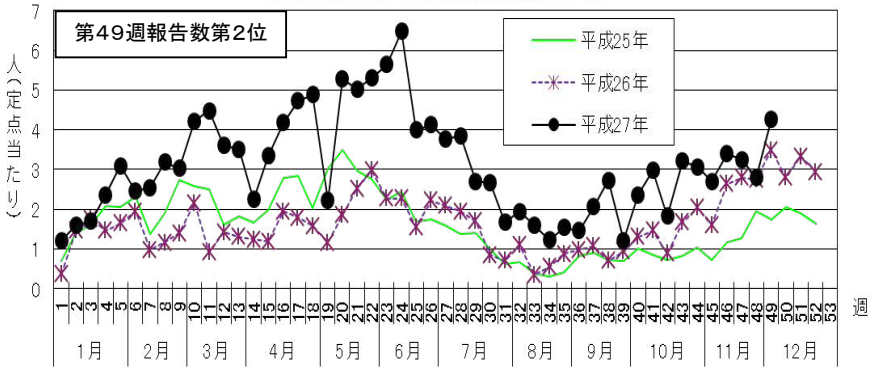
平成２７年１１月３０日（月）～平成２７年１２月６日（日）〔第４９週〕の感染症発生状況

第４９週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎　2)Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎　3)水痘でした。
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は１４．１３人と前週（１０．５２人）から増加しましたが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は４．４１人と前週（２．７９人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。
水痘の定点当たり患者報告数は１．３１人と前週（１．３３人）からほぼ横ばいで、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)

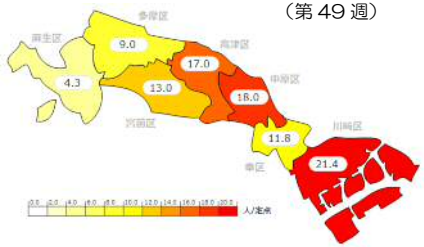


感染性胃腸炎の流行にご注意ください！！

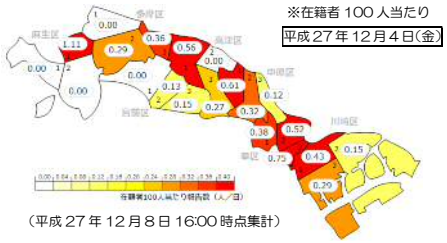
感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌などが原因で、下痢やおう吐などの症状が出る感染症です。例年 12 月中旬頃に流行のピークをむかえますが、川崎区では、第 49 週（11 月 30 日～12 月 6 日）の定点当たり患者報告数が 21.40 人と流行警報基準値（20 人）を超えており、また、市内の複数の保育園では、集団発生も報告されています。

食器やドアノブ、患者のおう吐物の消毒など、予防対策を徹底することが大切です。

川崎市の感染性胃腸炎発生状況
（第 49 週）



学校・保育園等欠席者サーベイランス情報
【下痢・腹痛のある保育園児報告数※】
※在籍者 100 人当たり
平成 27 年 12 月 4 日(金)



（平成 27 年 12 月 8 日 16:00 時点集計）

塩素液の作り方	食器、ドアノブなどの**消毒**（200ppm の濃度の塩素液）		おう吐物廃棄時の**消毒**（1000ppm の濃度の塩素液）	
製品の濃度	液の量	水の量	液の量	水の量
１２％（一般的な業務用）	5ml	3L	２5ml	3L
６％（一般的な家庭用）	１０ml	3L	５０ml	3L
１％	６０ml	3L	３００ml	3L

- 製品ごとに濃度が異なるので表示をしっかり確認し、**使用期限内**のものを使用してください。
- 時間が経つと濃度が下がるので、作り置きしないようにしましょう。
- おう吐物などの酸性のものに直接原液をかけると、**有毒ガスが発生することがあります**ので、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。

発行　川崎市健康安全研究所・健康福祉局健康安全部・各区役所保健福祉センター（保健所）
（問い合わせ先）　０４４－２７６－８２５０